

表13 夜勤回数

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	無回答
準 夜 勤	全 体	12 (1.6)	46 (6.1)	45 (6.0)	245 (32.5)	166 (22.0)	54 (7.2)	12 (1.6)	17 (2.3)	3 (0.4)	4 (0.5)	0 (0.0)	1 (0.1)	149 (19.8)
	総 合	2 (1.4)	9 (6.5)	8 (5.8)	69 (50.0)	24 (17.4)	10 (7.2)	1 (0.7)	1 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	14 (10.4)
	精 神	10 (1.6)	37 (6.0)	37 (6.0)	176 (28.6)	142 (23.1)	44 (7.1)	11 (1.8)	16 (2.6)	3 (0.5)	4 (0.6)	0 (0.0)	1 (0.2)	135 (21.9)
深 夜 勤	全 体	12 (1.6)	48 (6.4)	50 (6.6)	210 (27.9)	181 (24.0)	64 (8.5)	21 (2.8)	24 (3.2)	1 (0.1)	3 (0.4)	1 (0.1)	1 (0.1)	138 (18.3)
	総 合	1 (0.7)	5 (3.6)	14 (10.1)	63 (45.7)	21 (15.2)	17 (12.3)	1 (0.7)	1 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	15 (10.8)
	精 神	11 (1.8)	43 (7.0)	36 (5.8)	147 (23.9)	160 (26.0)	47 (7.6)	20 (3.2)	23 (3.7)	1 (0.2)	3 (0.5)	1 (0.2)	1 (0.2)	123 (20.0)

(9) 所持免許

看護婦免許所持者は、精神病院勤務者よりも総合病院勤務者の方が多い。しかし、保健婦・助産婦免許所持者は、精神病院勤務者の方が多い。准看護婦免許については、大きな差はみられない(表14)。

表14 所持免許

(複数回答)

		看護婦	保健婦	助産婦	准看護婦
全 体	488 (64.7)	18 (2.4)	27 (3.6)	324 (43.0)	
総 合	107 (76.9)	2 (1.5)	3 (2.3)	59 (43.4)	
精 神	381 (61.9)	16 (2.6)	24 (3.9)	265 (43.0)	

Ⅱ 尺度の構成と信頼性

(1) 生活出来事尺度

生活出来事とは、日常生活の中で起こるストレス性の高い出来事である。1967年に Holmes, T.H と Rahe, R.H らは、社会的再適応評定尺度 (Social Readjustment Rating Scale, SRRS) に関する研究を公表している。

これは、大別してその人自身を巻き添えにする生活上の事件 (Life event) とその人の生活習慣の変化 (Life style) のタイプから成り各項目は、その出現が生活のパターンに重要な変化を要求するものか、あるいは、重要な変化のしるしであるかのいずれかを現わすものとなっている。

今回、生活出来事尺度として仕事上の生活出来事と、私生活での生活出来事に分類した質問項目を作成した。回答肢は、「なかった (事件)」「この3ヶ月以内にあった」「この1年以内にあった」という3項目を設定した。

尺度化の方法は、「この3ヶ月以内にあった」「この1年以内にあった」と答えているものに1点を与え、「なかった」と答えたものに0点を与え、それぞれ加算し「職場でのストレス性の高い出来事尺度」と「私生活でのストレス性の高い出来事尺度」を作成した。

(2) ストレス認知尺度

生活出来事質問肢の中で、「この3ヶ月以内にあった」「この1年以内にあった」と答えているものについてそれぞれ「つらい」と認知しているか、それとも「つらくはなかった」と認知しているかを問うた。生活出来事はその出来事が起こる頻度にもよるが、その出来事の受け止め方には個人差があるものの、その多くは、それまでの生活とは、異なった生活様式の変容を求められるものである。それだけに、その出来事がつらかったと認知している場合は、生活出来事に加えた強い衝撃があるのではないかという仮説のもとに質問項目を設定した。

尺度化の方法は、職場におけるストレス性の高い出来事については、「とてもつらかった」「少しつらかった」に1点、「つらくはなかった」に0点を与え、それぞれ加算し、「職場におけるストレス認知尺度」を作成した。

また私生活でのストレス性の高い出来事については、「つらかった」「どちらともいえない」に1点、「つらくはなかった」に0点を与え、それぞれ加算し「私生活におけるストレス認知尺度」を作成した。

生活出来事尺度及びストレス認知尺度質問肢

この3ヶ月ないしは1年間に、次にあげるような出来事がありましたか。また、あるとお答えになった方はその事をどの程度「つらい」とお思いになりましたか。該当する番号にそれぞれ○をつけて下さい。

1) 患者が死亡した。(急死、自殺等も含む)

1. いいえ	2. この3ヶ月以内にあった	3. この1年間にあった	1. とてもつらかった 2. 少しつらかった 3. つらくはなかった
┌──────────────────┴──────────────────┐			

2) 夜勤または当直をしている時、恐い事件・事故があった

1. いいえ	2. この3ヶ月以内にあった	3. この1年間にあった	1. とてもつらかった 2. 少しつらかった 3. つらくはなかった
┌──────────────────┴──────────────────┐			

3) 配置転換 (ローテーションがあった)

1. いいえ	2. この3ヶ月以内にあった	3. この1年間にあった	1. とてもつらかった 2. 少しつらかった 3. つらくはなかった
┌──────────────────┴──────────────────┐			

看護職員の心身健康に関する研究

4) 患者から拒否された

1. いいえ	2. この3ヶ月以内にあった	3. この1年間にあった	1. とてもつらかった 2. 少しつらかった 3. つらくはなかった
→			

5) 患者の病状が悪化して困った

1. いいえ	2. この3ヶ月以内にあった	3. この1年間にあった	1. とてもつらかった 2. 少しつらかった 3. つらくはなかった
→			

6) 業務量が急に増えた

1. いいえ	2. この3ヶ月以内にあった	3. この1年間にあった	1. とてもつらかった 2. 少しつらかった 3. つらくはなかった
→			

7) 病院, あるいは施設をかわった

1. いいえ	2. この3ヶ月以内にあった	3. この1年間にあった	1. とてもつらかった 2. 少しつらかった 3. つらくはなかった
→			

次にあげる出来事について、あなたがこの3ヶ月以内、または1年以内の間に経験したことがなければ「1. いいえ」に、経験したことであれば 2. あるいは 3. に○印をつけて下さい。また、2. 3. に答えられた方は、それらの出来事についてどのように感じたかについても該当するものに○印をつけて下さい。

1) 支出が大幅に増えたり、大きな借金（ローンを含む）をかかえた	1. いいえ	2. この3ヶ月以内にあった	3. この1年以内にあった	1. つらかった 2. どちらともいえない 3. つらくはなかった
	→			

2) 家族が病気や大ケガをした	1. いいえ	2. この3ヶ月以内にあった	3. この1年以内にあった	1. つらかった 2. どちらともいえない 3. つらくはなかった
	→			

3) 配偶者が死亡した	1. いいえ	2. この3ヶ月以内にあった	3. この1年以内にあった	1. つらかった 2. どちらともいえない 3. つらくはなかった
	→			

4) きょうだい死亡した	1. いいえ	2. この3ヶ月以内にあった	3. この1年以内にあった	1. つらかった 2. どちらともいえない 3. つらくはなかった
	→			

5) 頼りにしていた人(家族を含む)と離ればなれになった	1. いいえ 2. この3ヶ月以内にあった 3. この1年以内にあった	1. つらかった 2. どちらともいえない 3. つらくはなかった
6) 大事にしていた物がなくなったり(ペットが死んだり, いなくなったりを含む), こわれたりした	1. いいえ 2. この3ヶ月以内にあった 3. この1年以内にあった	1. つらかった 2. どちらともいえない 3. つらくはなかった
7) 配偶者に就職, 退職, 勤務時間や内容の変更等仕事上の変化があった	1. いいえ 2. この3ヶ月以内にあった 3. この1年以内にあった	1. つらかった 2. どちらともいえない 3. つらくはなかった
8) 離婚した	1. いいえ 2. この3ヶ月以内にあった 3. この1年以内にあった	1. つらかった 2. どちらともいえない 3. つらくはなかった
9) 友人や仲間ともめごとがおこった	1. いいえ 2. この3ヶ月以内にあった 3. この1年以内にあった	1. つらかった 2. どちらともいえない 3. つらくはなかった
10) 新たな人が家族の一員として同居するようになった(親の引きとり, 出戻りの子どもなど)	1. いいえ 2. この3ヶ月以内にあった 3. この1年以内にあった	1. つらかった 2. どちらともいえない 3. つらくはなかった

(3) 逃避的対処行動尺度

対処行動とは、何らかのストレス因があった場合にそのストレス因に反応する行動である。強いストレス因があった場合、自我に強い打撃を受ける事を回避する、防衛機構に基づく行動をとる場合もある。また、マスロー A.H は、目標へ到着するための、環境に積極的に働きかける行動として対処行動という用語を用いている。

今回用いた対処行動とは、マスローのいう対処行動のように積極的なはたらきかけをしない、むしろ現実逃避的対処行動、あるいはストレス回避的対処行動ともいえる行動について、質問項目を設定している。

質問肢は6項目あり、いつもそうすると答えたものに1点、ときどきそうする、そうしたことはないに0点を与え、加算し尺度化した。

逃避的対処行動質問肢

先の問1, 問2 (生活出来事) であげたような様々な出来事や状態があるとき, あなたは以下のような行動をとりますか。「1. いつもそうする」「2. ときどきそうする」「3. そうしたことはない」のうち, あなたにあてはまる番号に○をつけて下さい。

	いつも そうする	ときどき そうする	そうした ことはない
(1) じっと我慢して耐え, 時のたつのを待つ……………	1	2	3
(2) スリルや緊張感のある行為をする……………	1	2	3
(3) アルコールを飲んで, うさ晴らしをする……………	1	2	3
(4) 異性に優しさや愛情を求める……………	1	2	3
(5) おいしいものを食べたり, やけ食いなどをする……………	1	2	3
(6) 買い物等をして気を晴らす……………	1	2	3

(4) 社会的支援尺度

ここでいう社会的支援とは, 自分の身の回りにいる, 支援, 援助者を指す。

近年, 保健医療の分野において疾病予防, 自我の補強機能等から Social Support という概念が, 注目されている。

Caplan (1974) や Cobb (1976), Weiss (1974) らの初期の理論家の研究をレビューした, J. S. Norbeck によると, これらの初期の理論家の定義は, Social Support の概念の構成要素はそれぞれ異なるが, 相違点よりも類似点を多く含んでいるという指摘がある。

これらの類似点は, 次の2点である。

1つは, 感情的なサポート, 自己価値へのサポート, 情報提供のサポート, 評価を提供するサポートなど, 様々な様式の心理的サポートである。もう1つは, 直接的な援助, 物, お金の提供を含む物質的サポートである。

もちろん, これら初期の理論家たちの研究領域の違いから理論的背景の違いはあるが, これらの共通点は, 患者サイドからみた, Social Support の効用という視点で共通であると思われる。

今回用いた社会的支援尺度と上記の理論家たちの, Social Support とを比べた場合, 今回用いた社会的援助の概念は, 気持ちの理解をしてくれる人の有無を聞く心理的サポート機能と, 経済的に困っているときに援助してくれる人の有無を聞く, 物質的サポート機能を備えている点においては, 概念的に共通している。今回使用した, 社会的援助の質問項目は次の5項目である。

- 1) 会うと, 心が落つき安心できる人
- 2) 気持ちが通じあう人
- 3) つね日頃, あなたの気持ちを敏感に察してくれる人

4) 経済的に困っている時、頼りになる人

5) 引っ越しをしなければならぬとき、手伝ってくれる人

この質問項目に対する回答肢は、それぞれに次のとおりである。1. いる 2. いない

この質問項目は、本調査票作成前のプリテストの段階で、因子分析を行った結果、2つの因子に分けることができた。その1つが、問1, 2, 3を組み合わせた、情緒的支援援助者尺度 (Norbeck のいう心理的サポートと共通の概念) である。もう1つは、問4, 5を組み合わせた手段的支援援助者尺度 (Norbeck のいう物質的サポートと共通の概念) である。

(5) 苦悩体験ダミー

苦悩体験ダミーとは、「これまでに深刻に思い悩んだ経験がどの程度あるか」という問いに対して「自殺したいと思った事がある」と答えたものに1点、それ以外に答えたものに0点を与え、ダミー変数を作成した。

ダミー変数とは、独立変数が名義尺度の場合、この苦悩体験ダミーのように回答肢が分類されており、通常の回帰方程式では解きようがない変数のことである。このような変数は、値1か0を与えることによって回帰方程式に投入し分析できる。

苦悩体験ダミー質問肢

あなたはこれまでに深刻に思い悩んだ経験がどの程度おありですか。1～5のうち最もあてはまるもの1つをお選び下さい。

1. そういった経験はない
2. 多少悩んだ事がある
3. かなり悩んだ事がある
4. 1人でいる事が不安になるほど思い悩んだ事がある
5. 自殺したいと思った事がある

(6) 無力体験尺度

無力体験 (Helplessness) として、これまでに直面した問題は、それなりに解決できた事の有無や、不愉快な出来事があったとき、何の対応もできなかったという体験を問うている。強い無力体験をもっていると、何らかのストレス因があった場合、それを乗り越える自信が乏しいために、ストレス因を乗り越えられず、抑鬱症状や神経症症状を引き起こす事がこれまでの調査結果でわかっている。

今回、「これまで直面した問題は、それなりに解決する事が多いですか」「これまで不愉快な出来事があったとき、何の対応もできなかったという経験がありますか」という2つの質問項目に対して、「解決できた事はめったにない」「対応できなかった経験がよくあった」と答えたものに1点、それ以外に0点を与え、これを加算し尺度化した。

無力体験尺度質問肢

これまで、あなたが直面した問題はそれなりに解決できた事が多いですか。

1. 解決できた事が多い 2. まあまあ解決できた 3. 解決できた事はめったにない

これまで不愉快な出来事があったとき、何の対応もできなかったという経験がありますか。

1. よくあった 2. ときどきあった 3. ほとんどない

(7) 職場の不满尺度

職場の不满尺度とは、ケアのやりがいが見出せない、看護の技術や独自性が生かされない、昇進の機会や配置の希望が適切ではない、仕事量の割りに給与が安い等、職場における不満項目として設けた4つの項目に対して、「大いにそうである」と回答しているものに1点、それ以外に回答しているものに0点を与え、それぞれ加算し尺度化した。

職場の不满尺度質問肢

次にあげる事柄について、あなたの職場にどの程度あてはまりますか。

	大いに そうである	まあ そうである	そうでは ない	どちらとも いえない
1) ケアを行ってもそれがすぐに結果として現れず、やりがいが見出せないのが不満である。	1	2	3	4
2) 自分の看護の技術や独自性が生かされないのが不満である。	1	2	3	4
3) 昇進の機会や配置の希望が公平でなかったり、適切ではなかったりするのが不満である。	1	2	3	4
4) 仕事量の割に、給与が安く不満である。	1	2	3	4

(8) 職場の負担尺度

職場の負担尺度とは、勤務時間内はいつも時間に追われ、休む暇もない、人手不足で他の人の業務までこなさなければならない等、職場の負担項目として設けた2項目について、「大いにそうである」と答えたものに1点、それ以外に答えたものには0点を与え、これを加算し尺度化した。

職場の負担尺度質問肢

次にあげる事柄について、あなたの職場にどの程度あてはまりますか。

	大いに そうである	まあ そうである	そうでは ない	どちらとも いえない
5) 勤務時間内はいつも時間に追われ、 休む暇もなく負担である。	1	2	3	4
6) 人手不足で他の人の業務までこな さなければならず、負担である。	1	2	3	4

(9) 職場の不安尺度

職場の不安尺度とは、今後具体的にどのような仕事をしていったらよいかははっきりしない、難かしい業務が増えて、この先自分がついていけなくなるのではないか等の、職場での不安項目として設けた2つの質問肢に「大いにそうである」と答えたものに1点を与え、それ以外に答えたものには0点を与え、加算し尺度化した。

職場の不安尺度質問項目

次にあげる事柄について、あなたの職場にどの程度あてはまりますか。

	大いに そうである	まあ そうである	そうでは ない	どちらとも いえない
7) 今後具体的にどのような内容の仕 事をしていったらよいかははっきり しないのが不安である。	1	2	3	4
8) むづかしい業務が増えて、この先 自分がついていけなくなるのでは ないか、不安である。	1	2	3	4

(10) 性格特性尺度

性格特性を測る質問項目として、2つの尺度と、1つのダミー変数を作成した。この性格特性が顕著である場合、日本の病院で働く上で不適応感、あるいは、疎外感を感じるのではないかと思われる。そのため、このような性格特性が顕著である場合に、心身健康を維持しながら、病院勤務を継続することは困難であるという仮説のもとに質問項目を作成した。

性格特性1尺度

性格特性1尺度は、「自分の存在が同僚、あるいは部下から無視されると気になる」「人の言動についていつも敏感に感じる方だ」という2つの質問肢を設けた。このような性格傾向は、思春期や青年期において、しばしば見受けられる傾向である。また、神経症や妄想傾向とも類似した側面をも持っている。病院で勤務する上で、他者の意見や行動にたいして敏感に対応していくことは、必要不可欠であるが、それが過ぎると他者指向性が強まり、自己の内的一貫性を失い、他者の視線に沿うように行動することが多くなる。そのため、わずかな部外環境の変

化でもストレス因として感じるため、外的環境変化の多い病院において、このような性格傾向は不適応症状を呈すると考えられる。

尺度化の方法は、この2つの質問肢に対して、「そうである」と答えたものに1点、それ以外には0点を与え、加算し尺度化した。

性格特性 1 尺度質問肢

次にあげる項目についてあなたご自身、どの程度あてはまりますか。該当する回答1つに○をつけてください。

	そう である	まあ そうである	多少 そうである	そうでは ない
自分の存在が同僚、あるいは部下等から無視されると気になる。	1	2	3	4
人の言動についていつも敏感に感じる方だ	1	2	3	4

性格特性 2 尺度

性格特性 2 尺度として「病棟の中では他の同僚、あるいは上司よりも良い仕事をしたい」「多くの人に賞賛されるケアを行いたい」という2つの質問肢を作成した。この性格傾向は、責任感が強く仕事に対する情熱も伺われるが、これが顕著である場合には、自己顕示欲求や他者との競争意識としてあらわれる事もあり、職場内での人間関係にも悪影響を及ぼす場合がある。

尺度化の方法は、この2つの質問肢に対して「いつもそうである」と答えたものに1点、それ以外に答えたものに0点を与えて尺度化した。

性格特性 2 尺度質問肢

次にあげる項目についてあなたご自身、どの程度あてはまりますか。該当する回答1つに○をつけてください。

	そう である	まあ そうである	多少 そうである	そうでは ない
病棟の中では他の同僚、あるいは上司よりも良い仕事をしたい。	1	2	3	4
多くの人に賞賛されるケアを行いたい	1	2	3	4

性格特性 3

性格特性 3 は、ダミー変数である。「頭で考えるよりまず行動する方が多い」という質問肢に対して、「いつもそうである」と答えたものに1点を与え、それ以外に答えたものに0点を与えた。

性格特性 3 質問肢

次にあげる項目についてあなたご自身、どの程度あてはまりますか。該当する回答1つに○

をつけて下さい。

	そう である	まあ そうである	多少 そうである	そうでは ない
頭で考えるよりもまず行動する方が多い ………	1	2	3	4

(11) 他者依存性性格尺度

この尺度は **Interpersonal Dependency Inventory** の翻訳版である (以下 IDI と略す)。この尺度の質問項目数は、全48項目であるが、日本版として、16項目に縮小した。そして、日本人の性格特徴の1つである「甘え」の概念を導入し、「甘えるタイプ」と「甘えられるタイプ」の2つの項目を加えた全18項目が、他者依存性を把握する質問項目である (Patricia M, Scott 翻訳修正)。

他者依存性の概念は、精神分析理論、対象関係論や依存の社会学習理論、比較行動学的愛着理論が拠り所となっている。

また、この IDI は、他者への情緒的信頼、社会的自信の欠乏、自律性の主張の3つのサブスケールに分けることができる。

IDI の使用は、日本ではこれが初めての試みである。米国では、精神障害者と健常者との比較研究が行われており、精神障害者の方が健常者に比べて、他者依存性傾向が高いという結果が得られている。

尺度化の手順として、問1の回答肢、1～4を4～1となるよう Reverse した。更にこれを3つのサブスケールとして、下記のとおり分類した。問2、問5、問9、問14、問15の5項目を他者依存性尺度1 (他者への情緒的信頼)。問1、問4、問6、問10、問11、問13、問17の7項目を他者依存性尺度2 (社会的自信の喪失)。問3、問8、問12、問18の4項目を他者依存性尺度3 (自律性の主張)。

これらの、サブスケールの質問肢に対して「全くそうである」と答えたものに1点、それ以外に答えたものには0点を与え、それぞれ加算し、尺度化した。

そして、問7の「私はどちらかという人に甘えられる方だ」という質問肢に対して「全くそうでない」と答えたものに1点、それ以外に答えたものには0点を与え、「甘えられることのないタイプ」というダミー変数を作成した。

また問16の「私はどちらかという人に甘える方だ」という質問肢に対して、「全くそうである」と答えたものに1点を与え、それ以外に答えたものには0点を与え「甘えるタイプ」というダミー変数を作成した。

他者依存性性格尺度質問肢

次に述べる18の文章の一つ一つについて、日頃のあなたの気持ちや考え方をお尋ねします。あなたの場合に、最もあてはまる答えの番号を○で囲んでください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 4 : 全く、そうである | 2 : まあまあ、そうである |
| 3 : かなり、そうである | 1 : 全く、そうでない |

1) 私は、自分自身の判断についてとても自信がある。	4	3	2	1
2) 私が傷つきやすいことを、人はわかっていないように思う。	4	3	2	1
3) 病気の時は、まわりの人にかまわれたくない方だ。	4	3	2	1
4) 人にものを頼むのが苦手だ。	4	3	2	1
5) 私には、他の誰よりも私の肩を持ってくれる人が必要である。	4	3	2	1
6) 初対面の人と会う時はいつでも、正しく対応できないのではないかと、心配になる。	4	3	2	1
7) 私は、どちらかという人と人に甘えられる方だ。	4	3	2	1
8) 私は、人の言う事を気にしない方である。	4	3	2	1
9) もし、大事に思う人から見捨てられるようなことがあったら、もうどうしようもないと思うだろう。	4	3	2	1
10) 私は、他人の意見にすぐ賛成してしまう方だ。	4	3	2	1
11) 私には、いい指導者になる素質が欠けている。	4	3	2	1
12) 私は、人にいろいろしてもらう必要はない。	4	3	2	1
13) 自分一人でものごとを決めるのが苦手だ。	4	3	2	1
14) 自分がどうしても必要としている人の好意や援助を失うのではないかと、私はいつも恐れてきた。	4	3	2	1
15) 必要とすることをまわりから得られないと、がっかりする方である。	4	3	2	1
16) 私は、どちらかという人と人に甘える方だ。	4	3	2	1
17) 私は、リーダーになるよりは人に従ってゆく方がよい。	4	3	2	1
18) 私は、自分だけを頼りにしている。	4	3	2	1

(12) A型行動特性尺度

A型行動特性とは、Friedman, Rosenman らが、1959年に、虚血性心疾患に特有の行動特性があることを指摘し、Type A Behavior Pattern と命名した行動特性である。

1965年に、Jenkins らは、行動パターン自己評定のための質問紙 Jenkins Activity Survey(JAS) を発表して以来、患者の行動パターンに関する研究が急速に進歩した。

日本でも、このA型行動特性の翻訳修正版によって患者の行動パターンについての研究が行われている。今回用いた質問紙は、前田聰が作成した「A型傾向判別表」である。この12項目には、A型行動パターンの特徴とされている、時間切迫感、熱中性、徹底性、自信、緊張、きちよう面さ、怒りやすさ、攻撃性などに関連する項目が含まれている。各質問項目に対する回答肢は、「いつもそうである」「しばしばそうである」「そんなことはない」の3肢として、それぞれに2点、1点、0点を与えた。しかし、問5、問6、問9の3問には2倍の特点を与え、全12問を加算して30点満点として合計得点を算出した。前田の研究によると、合計得点17点以上にA型傾向を示すものが多く、逆に16点以下に、非A型行動特性を示すものが有意に多いこ

とが指摘されている。しかし、今回の調査結果では、17点以上の得点を示す割合が高い。中でも、精神病院勤務看護者にその割合が高かった。

A型行動特性尺度質問肢

次にあげる事について、日頃のあなたにどの程度あてはまりますか。該当する番号に○をつけて下さい。

	いつも そうである	しばしば そうである	そんな ことはない
1) 忙しい生活ですか?.....	1	2	3
2) 毎日の生活で時間に追われるような感じがして..... いますか?	1	2	3
3) 仕事, その他になにに熱中しやすい方ですか?...	1	2	3
4) 仕事に熱中すると, 他のことに気持ちの切りか..... えができていく方ですか?	1	2	3
5) やる以上はかなり徹底的にやらないと気がすま..... ない方ですか?	1	2	3
6) 自分の仕事や行動に自信を持ちますか?.....	1	2	3
7) 緊張しやすい方ですか?.....	1	2	3
8) イライラしたり怒りやすい方ですか?.....	1	2	3
9) きちよう面ですか?.....	1	2	3
10) 勝気な方ですか?.....	1	2	3
11) 気性が激しいですか?.....	1	2	3
12) 仕事, その他のことで他人と競争するという気..... 持を持ち易い方ですか?	1	2	3

(13) 意欲の減退尺度

この尺度は、コロンビア大学社会精神医学ユニットの Dohrenwent, B.P らによって開発された PSYCHIATRIC EPIDEMIOLOGY RESEARCH INTERVIEW (以下 P E R I とする) 精神医学疫学調査の中の症状測定尺度の1つである、Demoralization scale の翻訳版である (藤田和夫翻訳)。

この意欲の減退尺度は、今回の分析には用いなかったが、サブスケールと過去2週間の状態を聞く、2Weeks PERI 尺度もある。

この PERI Demoralization scale は、もともと Depression (抑鬱症状) 患者を把握するための、Screening test (選別尺度) として用いられた。そして本来ならば得点の高かった者に対して面接調査を行い、その結果と精神科医の診断とをつきあわせて尺度の妥当性や症状程度の分割点の設定を行うのであるが、今回の調査は自記式の調査票を用いた横断的調査であるため、その設定は、これまで日本である程度妥当性が検討されている GHQ (General Health Questionnaire) と症状程度の分割点を同じくした。

また 問3, 問5, 問21, 問22は 5 = 1, 4 = 2, 3 = 3, 2 = 4, 1 = 5 と、回答肢を Reverse させて、1に答えているものに1点を与え、1以外に答えたものには、0点を与え、これを加算して0点から1点を、健常群とし、2点から4点までを中間群、5点以上を意欲減退群として尺度化した。しかし今回は、PERIを用いたはじめての試みであるため、得点の高かった意欲減退群が何割いたという分析方法はとらなかった。

意欲の減退尺度質問肢

ここ1年間のあなたの状態についてお伺いします。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

1. ここ1年間、いくつか体の調子が悪く、不快感を感じたことがありましたか。
 1. いつもあった
 2. よくあった
 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった
 5. まったくなかった
2. ここ1年間、何度か暗い気持ちになったり、悲しくなったりした事がありましたか。
 1. いつもあった
 2. よくあった
 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった
 5. まったくなかった
3. ここ1年間をふり返ってみて、この一年はあなたにとって満足のいく1年だったと思いますか。
 1. とても満足
 2. やや満足
 3. やや不満
 4. とても不満
4. ここ1年間、発作や突然の恐怖感におそわれたり、パニック状態になった事がありましたか。
 1. いつもあった
 2. よくあった
 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった
 5. まったくなかった
5. ここ1年間、自分に自信を持ったことがありましたか。
 1. いつもあった
 2. よくあった
 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった
 5. まったくなかった
6. ここ1年間、孤独感を感じた事がありましたか。
 1. いつもあった
 2. よくあった
 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった
 5. まったくなかった
7. ここ1年間、休まることがなかったと感じたことがありましたか。
 1. いつもあった
 2. よくあった
 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった
 5. まったくなかった
8. ここ1年間、自分が役にたたない人間だと感じた事がありましたか。
 1. いつもあった
 2. よくあった
 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった
 5. まったくなかった
9. ここ1年間、気が変になるのではないかという恐れを感じた事がありましたか。
 1. いつもあった
 2. よくあった
 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった
 5. まったくなかった
10. ここ1年間、不安な気持になった事がありましたか。

1. いつもあった 2. よくあった 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった 5. まったくなかった
11. ここ1年間、何か恐ろしい事がおきるのではないかと怯えた事がありましたか。
 1. いつもあった 2. よくあった 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった 5. まったくなかった
12. ここ1年間、心乱されたり思い悩んだ事がありましたか。
 1. いつもあった 2. よくあった 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった 5. まったくなかった
13. ここ1年間、自分の気持をおさえる事ができなかつたり、集中する事ができなくなった事がありましたか。
 1. いつもあった 2. よくあった 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった 5. まったくなかった
14. ここ1年間、希望どおりに事が運ばなかったという事がありましたか。
 1. いつもあった 2. よくあった 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった 5. まったくなかった
15. ここ1年間、あらゆる事に望みがないと思った事がありましたか。
 1. いつもあった 2. よくあった 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった 5. まったくなかった
16. ここ1年間、自分が無力だと思った事がありましたか。
 1. いつもあった 2. よくあった 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった 5. まったくなかった
17. ここ1年間、全くやりがいが見出されなかったと思った事はありましたか。
 1. いつもあった 2. よくあった 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった 5. まったくなかった
18. ここ1年間、恐ろしさのため冷や汗をかいた事がありましたか。
 1. いつもあった 2. よくあった 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった 5. まったくなかった
19. ここ1年間、頭痛に悩まされた事がありましたか。
 1. いつもあった 2. よくあった 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった 5. まったくなかった
20. ここ1年間、食欲がなかったという事がありましたか。
 1. いつもあった 2. よくあった 3. ときどきあった
 4. ほとんどなかった 5. まったくなかった
21. ここ1年間をふり返ってみて、あなたと他の同年齢の人と比べてみた場合
 1. とてもよかったと思う 2. まあよかったと思う 3. ふつうだと思う
 4. ふつうよりやや悪かったと思う 5. ふつうよりかなりよくなかったと思う

- あなたは次にあげるようなタイプだと思いますか。
- | | そう
思う | まあ
そう思う | どちらとも
いえない | あまりそう
思わない | そう
思わない |
|-------------------------------|----------|------------|---------------|---------------|------------|
| 22. 十分に自慢できる人間だと思う… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 23. 苦労性である…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 24. だいたいにおいてうまくいった…
ためしがない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
25. ここ1年間、怒ったときに寝つけなかったり、頭痛、胃の痛み、冷や汗等の身体症状がありましたか。
- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 1. いつもあった | 2. よくあった | 3. ときどきあった |
| 4. ほとんどなかった | 5. まったくなかった | |
26. ここ1年間、自分が見捨てられる、あるいは頼りにしていた人がいなくなるというような気持ちがありましたか。
- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 1. いつもあった | 2. よくあった | 3. ときどきあった |
| 4. ほとんどなかった | 5. まったくなかった | |
27. ここ1年間、神経が過敏になったり、そわそわしたり、緊張しすぎたりした事がありましたか。
- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 1. いつもあった | 2. よくあった | 3. ときどきあった |
| 4. ほとんどなかった | 5. まったくなかった | |

(14) 燃え尽き症状尺度

仕事上の諸状況から生じる身体的、情緒的、精神的消耗状態を意味する燃え尽き (Burn Out) は、世界5ヶ国以上で用いられている Pinse の The Burn Out Measure の邦訳修正された21項目尺度を用いた。(土居, 宗像, 稲岡, 吉松, 高橋, 川野翻訳修正)

尺度の得点は、(3), (6), (18), (19) の回答肢 1 = 7, 2 = 6, 3 = 5, 4 = 4, 5 = 3, 6 = 2, 7 = 1 と、Reverse させ、「ときどきある, しばしばある, たいていある, いつもある」と答えた場合を1点とし、「まったくない, ごくまれにある, まれにある」と答えた場合, 0点として, 加算し尺度化した。

燃え尽き症状尺度質問肢

あなたは最近次のような気持ちをもつことがありますか。以下それぞれの気持ちの頻度について該当する番号に○をつけて下さい。

- | | | | |
|--------------|-----------|------------|-----------|
| (1) 疲れる…………… | 1. まったくない | 2. ごくまれにある | 3. まれにある |
| | 4. ときどきある | 5. しばしばある | 6. たいていある |
| | 7. いつもある | | |

(2) 憂うつ……………	1. まったくない 4. ときどきある 7. いつもある	2. ごくまれにある 5. しばしばある	3. まれにある 6. たいていある
(3) いい一日……………	1. まったくない 4. ときどきある 7. いつもある	2. ごくまれにある 5. しばしばある	3. まれにある 6. たいていある
(4) 疲労困憊……………	1. まったくない 4. ときどきある 7. いつもある	2. ごくまれにある 5. しばしばある	3. まれにある 6. たいていある
(5) 神経がすりへった感じ…	1. まったくない 4. ときどきある 7. いつもある	2. ごくまれにある 5. しばしばある	3. まれにある 6. たいていある
(6) 幸福感……………	1. まったくない 4. ときどきある 7. いつもある	2. ごくまれにある 5. しばしばある	3. まれにある 6. たいていある
(7) ぬけがらになった感じ…	1. まったくない 4. ときどきある 7. いつもある	2. ごくまれにある 5. しばしばある	3. まれにある 6. たいていある
(8) 面白くない……………	1. まったくない 4. ときどきある 7. いつもある	2. ごくまれにある 5. しばしばある	3. まれにある 6. たいていある
(9) 精根つきる……………	1. まったくない 4. ときどきある 7. いつもある	2. ごくまれにある 5. しばしばある	3. まれにある 6. たいていある
(10) 「こんなはずじゃなか… った」という感じ	1. まったくない 4. ときどきある 7. いつもある	2. ごくまれにある 5. しばしばある	3. まれにある 6. たいていある

看護職員の心身健康に関する研究

- | | | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|-------------------------|-----------------------|
| (11) 自分は駄目な人間……… | 1. まったくない
4. ときどきある
7. いつもある | 2. ごくまれにある
5. しばしばある | 3. まれにある
6. たいていある |
| (12) うんざりする……… | 1. まったくない
4. ときどきある
7. いつもある | 2. ごくまれにある
5. しばしばある | 3. まれにある
6. たいていある |
| (13) 悩んでいる……… | 1. まったくない
4. ときどきある
7. いつもある | 2. ごくまれにある
5. しばしばある | 3. まれにある
6. たいていある |
| (14) 人間に対してあいそう
がつきてむしように腹…
が立つ | 1. まったくない
4. ときどきある
7. いつもある | 2. ごくまれにある
5. しばしばある | 3. まれにある
6. たいていある |
| (15) 無力感……… | 1. まったくない
4. ときどきある
7. いつもある | 2. ごくまれにある
5. しばしばある | 3. まれにある
6. たいていある |
| (16) 絶望感……… | 1. まったくない
4. ときどきある
7. いつもある | 2. ごくまれにある
5. しばしばある | 3. まれにある
6. たいていある |
| (17) 相手にされない感じ…… | 1. まったくない
4. ときどきある
7. いつもある | 2. ごくまれにある
5. しばしばある | 3. まれにある
6. たいていある |
| (18) 楽感的な気分……… | 1. まったくない
4. ときどきある
7. いつもある | 2. ごくまれにある
5. しばしばある | 3. まれにある
6. たいていある |
| (19) 元気いっぱい……… | 1. まったくない
4. ときどきある
7. いつもある | 2. ごくまれにある
5. しばしばある | 3. まれにある
6. たいていある |

- | | | | |
|-------------------|-----------|------------|-----------|
| (20) 気がもめる(心配しがち) | 1. まったくない | 2. ごくまれにある | 3. まれにある |
| | 4. ときどきある | 5. しばしばある | 6. たいていある |
| | 7. いつもある | | |
-
- | | | | |
|-------------------|-----------|------------|-----------|
| (21) 生活があるれる…………… | 1. まったくない | 2. ごくまれにある | 3. まれにある |
| | 4. ときどきある | 5. しばしばある | 6. たいていある |
| | 7. いつもある | | |

(15) 蓄積的疲労徴候

心身健康度を把握するためのチェックリストとして、労働科学研究所の越河六郎が作成した、蓄積的疲労徴候調査票を用いた。

この調査票の質問肢で、「このところ食欲がない」という項目がある。「このところ」という意味が、何時から何時までを指すのかと言う疑問が生ずるが、調査票作成者の意図は、記入時点に限らず、ときおり感じるという症状に主眼をおいて応答を求めようとしている。そのため、特に時期を限定していない。また、ここでいう蓄積的疲労徴候の蓄積的という意味は、「継続して」という意味で用いられている。

また、この蓄積的疲労徴候は、因子分析を行った結果、AからFまでの6つのサブスケールに分類することができる。サブスケールの項目は次のとおりである。

- A. 一般的身体疲労感尺度。質問項目 (9) (12) (25) (30) (32) (40) (41) (53) (58) (59) (60) (67) (70) (71) (75), 以上15項目。
- B. 気力の低下尺度。質問項目 (2) (8) (36) (43) (45) (56) (62) (65) (66) (68) (81) 以上11項目。
- C. イライラの状態尺度。質問項目 (3) (7) (13) (23) (24) (31) (44) (52) (54) (69) 以上10項目。
- D. 身体不調尺度。質問項目 (1) (11) (18) (21) (28) (33) (49) (61) 以上8項目。
- E. 不安徴候尺度。質問項目 (14) (29) (50) (55) (64) (72) 以上6項目。
- F. 労働意欲の低下尺度。質問項目 (6) (22) (34) (37) (39) (48) (57) (73) (76) 以上9項目。

これらのサブスケールについて、1はいと答えたものに1点、2いいえと答えたものに0点を与え、それぞれ加算し尺度化した。

また、このサブスケールの特性別平均訴え率は、次の公式によって求めることができる。

$$\frac{\text{各特性別項目群への〇印応答数計}}{\text{各特性別項目数} \times \text{対象者数}} \times 100$$

蓄積的疲労徴候質問肢

次にたくさんの項目があります。これらをよく読んで近ごろの自分にあてはまるものには1

看護職員の心身健康に関する研究

の「はい」に○を、あてはまらないものには2の「いいえ」に○をつけて下さい。

はい いいえ

1	このところ食欲がない……………	1	2
2	根気が続かない……………	1	2
3	ちょっとしたことですぐおこりだすことがある……………	1	2
4	生きていてもおもしろいことはないと思う……………	1	2
5	ものをみたり書いたりする気になれない……………	1	2
6	やっている仕事が単調すぎる……………	1	2
7	気がたかぶっている……………	1	2
8	動くのがおっくうである……………	1	2
9	このところ毎日ねむくてしょうがない……………	1	2
10	家族と一緒にいてもくつろげない……………	1	2
11	このところ頭が重い……………	1	2
12	朝、起きた時でも疲れを感じることが多い……………	1	2
13	いろいろなことが不満だ……………	1	2
14	心配ごとがある……………	1	2
15	一人きりでいたいと思うことがある……………	1	2
16	理由もなく不安になることがときどきある……………	1	2
17	動作がぎこちなく、よく物を落としたりする……………	1	2
18	このところ寝つきが悪い……………	1	2
19	ちかごろ、できもしないことを空想することが多い……………	1	2
20	友人とのつきあいなどおっくうである……………	1	2
21	胃・腸の調子が悪い……………	1	2
22	仕事が手につかない……………	1	2
23	すぐどなったり、言葉使いが荒くなってしまう……………	1	2
24	なんということなくイライラする……………	1	2
25	全身の力がぬけたようになることがある……………	1	2
26	自分がいやでしょうがない……………	1	2
27	話をするのがわずらわしい……………	1	2
28	しばしば目まいがする……………	1	2
29	する事に自信がもてない……………	1	2
30	この頃全身がだるい……………	1	2
31	おもいっきりケンカでもしてみたい……………	1	2
32	朝、起きた時、気分がすぐれない……………	1	2
33	毎日、出勤するのが大変つらい……………	1	2
34	職場の雰囲気が暗い……………	1	2

	はい	いいえ
35 このところ、ボンヤリすることがある……………	1	2
36 何ごともめんどくさい……………	1	2
37 上役の人と気が合わないことが多い……………	1	2
38 むねが悪くなったりはき気がする……………	1	2
39 仕事仲間とうまくいかない……………	1	2
40 腰が痛い……………	1	2
41 体のふしぶしが痛い……………	1	2
42 くつろぐ時間がない……………	1	2
43 考えごとがおっくうでいやになる……………	1	2
44 むやみに腹がたつ……………	1	2
45 なんとなく落ち着かない……………	1	2
46 何かしようとしても、いろんな事が頭に浮かんできて困る……………	1	2
47 家族の世話で追いまくられている……………	1	2
48 働く意欲がない……………	1	2
49 このところ、やせてきたようだ……………	1	2
50 自分が他人より劣っていると思えて仕方がない……………	1	2
51 よく下痢をする……………	1	2
52 何かでスパーッとウサばらしをしたい……………	1	2
53 目がかすむことがある……………	1	2
54 物音や人の声がカンにさわる……………	1	2
55 気がちって困る……………	1	2
56 すぐ気力がなくなる……………	1	2
57 仕事に興味がなくなった……………	1	2
58 目がつかれる……………	1	2
59 よく肩がこる……………	1	2
60 眠りが浅く、夢ばかりみる……………	1	2
61 すぐ風邪をひく……………	1	2
62 ちかごろ元気がない……………	1	2
63 将来に希望が持てない……………	1	2
64 だれかに打ち明けたいなやみがある……………	1	2
65 自分の好きなことでもやる気がしない……………	1	2
66 頭がさえない……………	1	2
67 この頃足がだるい……………	1	2
68 なんとなく気力がない……………	1	2
69 ささいなことが気になる……………	1	2

	はい	いいえ
70 仕事でのつかれがとれない……………	1	2
71 横になりたいぐらい仕事につかれることが多い……………	1	2
72 家に帰っても仕事のことが気にかかって困る……………	1	2
73 今の仕事をいつまでも続けたくない……………	1	2
74 夜、気がたってねむれないことが多い……………	1	2
75 毎日の仕事でくたくたにつかれる……………	1	2
76 生活にはりあいを感じない……………	1	2
77 なんとなく生きているだけのような気がする……………	1	2
78 努力しても仕方ないと思う……………	1	2
79 何をやっても楽しくない……………	1	2
80 自分の健康のことが心配で仕方がない……………	1	2
81 ゆううつな気分がする……………	1	2

(16) 各尺度の信頼性係数

一般に2つ以上の変数の変数値を合計した測定値の信頼性係数の推定を行う。クロンバックの α 係数は、多変数の合計得点に関する信頼性係数の推定値として、最もよく利用されている。各尺度の α 係数の値は、表15のとおりである。

表15 各尺度の信頼性 (クロンバックの α 係数)

尺 度 名	調査対象全体	精神病院勤務	総合病院勤務
意欲の減退尺度	0.8689	0.8720	0.8740
燃え尽き症状尺度	0.8637	0.8677	0.8565
一般的身体疲労感尺度	0.8627	0.8636	0.8600
気力の低下尺度	0.8461	0.8558	0.8876
イライラの症状尺度	0.7651	0.7841	0.8236
身体不調尺度	0.6018	0.6036	0.6123
不安徴候尺度	0.6773	0.6872	0.7014
労働意欲の低下尺度	0.6924	0.6945	0.7074
無力体験尺度	0.3753	0.3885	0.4792
社会的支援尺度	0.7656	0.7553	0.6514
逃避的対処行動尺度	0.5541	0.5432	0.3439
職場の不満尺度	0.6535	0.6378	0.4698
職場の不担尺度	0.7626	0.7546	0.6818
職場の不安尺度	0.4822	0.4865	0.5205
性格特性1尺度	0.4801	0.4715	0.3736
性格特性2尺度	0.5492	0.5265	0.3769
他者依存性1尺度	0.6190	0.6078	0.5357
他者依存性2尺度	0.6935	0.6926	0.6966
他者依存性3尺度	0.5827	0.5898	0.4965
A型行動特性尺度	0.7195	0.7125	0.6723

注1：クロンバックの α 係数は、0.7以上であれば、尺度としての内容一貫性が高いものと判断されるが、項目の内容によって差異がある。
 注2：「生活出来事尺度」の α 係数を産出していない理由は次のとおりである。生活出来事の項目は、それぞれ、異質の重みを持っており、その衝撃力は強い。また、このような出来事がまれにしか生起しない所にこそ生活出来事を測定する意味があると判断したため、生活出来事の項目間の内的一貫性は求めなかった。
 尚、生活出来事の尺度測定については、類似項目を集めたサブスケールによる分析を行う方法もある。